

# 見沼

MINUMA

2019

## 野外調査研究会

SAITAMA  
JAPAN

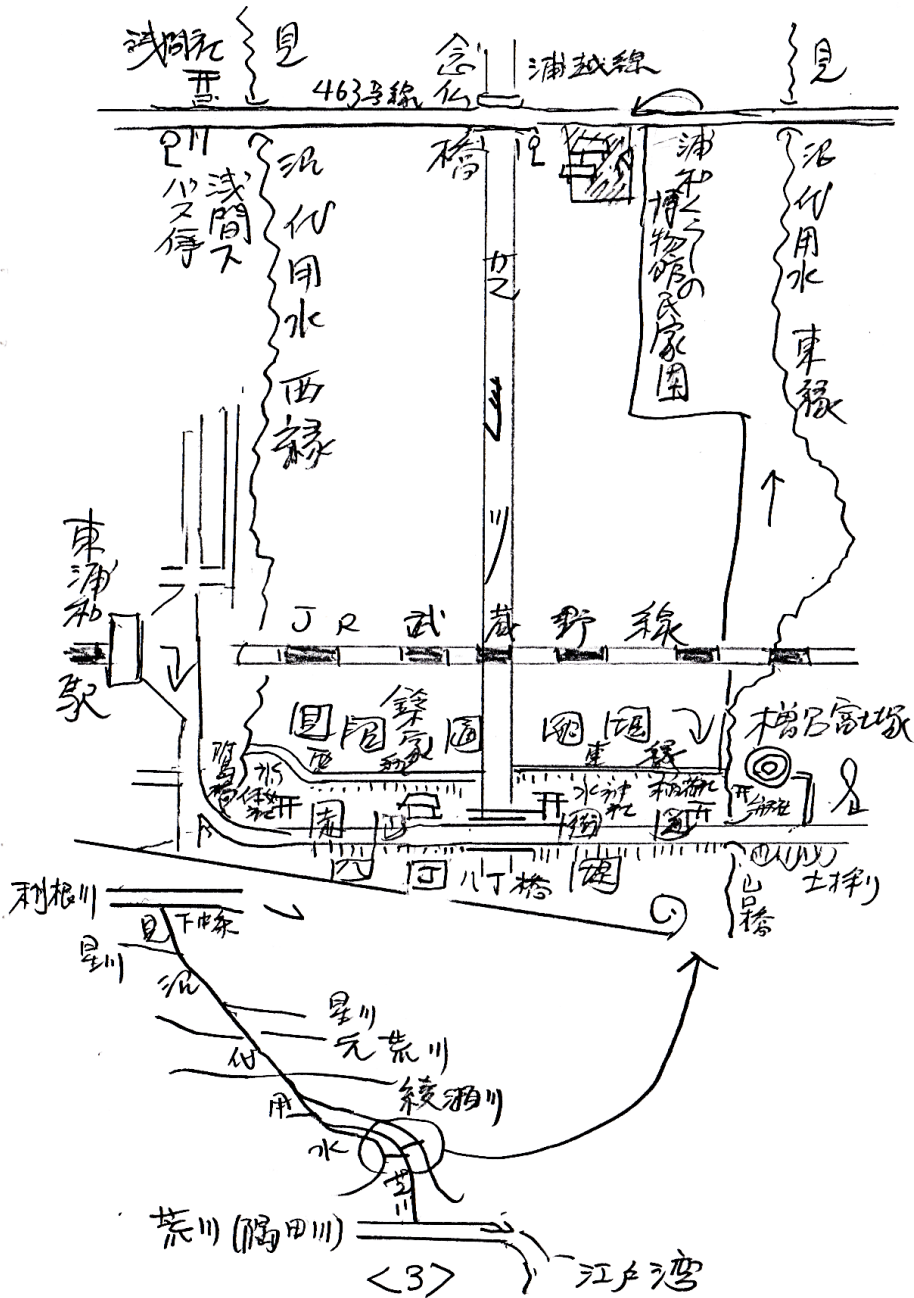
<コース> 東浦和駅前集合出発 → 赤山街道  
 → 見沼代用水西縁 → 見沼通船堰 (西縁)  
 取入口 → 仮×切 → 女体新橋 → 附島水  
 川女体社 → ハ丁堤・赤山街道 → 通船  
 堰二の関跡・舟溜り → 一の関 →  
 ハ丁堤 → 鈴木家住宅 → 苜川 (見沼中悪水)  
 ・ハ丁橋 → 水神社 → 東縁見沼通船  
 堰・出口 → 一の関 → 開室 →  
 二の関 → 仮×切 → 東縁入口 → 見  
 沼代用水路東縁 → 仮×切 → 山口弁  
 天 (葦島社) → 山口橋・下山口新田輪  
 荷社 → ハ丁堤土採跡 (推定) 断崖  
 → 木曾呂富塚 → 見沼代用水路  
 東縁 → 苜川第一調節池

浦和<31>の博物館民家園

念仏橋 → 見沼代用水路西

縁 → 浅間社 (大牧梅所) = 解散

<2> (バ) 浦和駅東口・  
東浦和駅他



## 見沼代用水

井澤弥惣兵衛為永(幕府勘定吟味後格)が  
開削した近世の灌漑用水路で水運にも  
使われた。享保12年(1727)秋着工、翌13年春  
竣工。

<目的> 在来の見沼溜井の水を利用し、川の水  
下8ヶ領の灌漑及び見沼新田と関連新田  
及びその周辺の水田灌漑のため。

水源: 利根川 — 上越国境の雪解氷  
安定した水量

取入口(元堤増堤) 行田市下中条  
利根導水武蔵水路 合口利根  
大堰の150m上流

在来河川利用 星川 17km  
延長90km 耳背(上尾市) → 東西に分れる  
旧見沼井より下は、在来用水路を使う。

(水下8ヶ領)

立体交差 元荒川(白岡市と蓮田市間)

綾瀬川(蓮田市と玉尾市間)

前者は、伏越と掛渡井(金中瀬止)

後者は掛渡井(現伏越)

勾配 西縁 4.00‰

東縁 5.00‰

<4>

見沼印用水の灌漑高 13万6千石

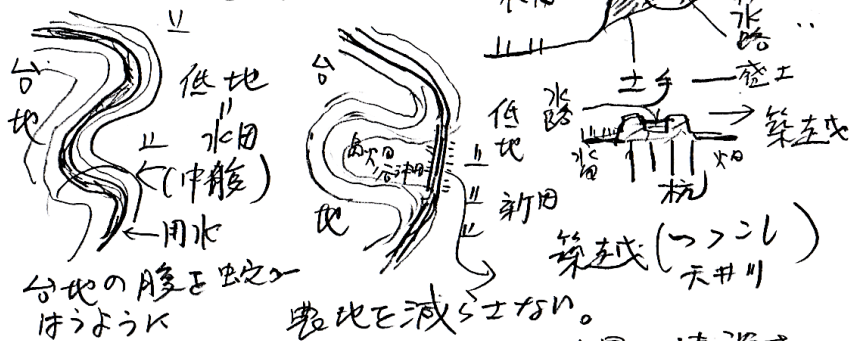
芝川開削と代用水路開削

労役90万人 (賃金1万5千両)

工作物の費用5千両、金具木材石材は官給

大工鍛冶石工は幕府派遣

<大宮台地皮> 台地 中腹を流す  
片方荒片方土手



台地の腹を蛇の  
けようか

表地を減らすため

工事は丁場割り — 測量の精確さ  
(村請)

大木材蔵 水盛器  
紀州流 笥播磨守

▲ 反対もあつた → 比べ

見沼新田 大宮台地皮 1200町歩 ≒ 1200ha  
≒ 2km<sup>2</sup>

享保改革の産物 井澤為永  
村請 17ヶ村参加 均等割と村高割り  
不参加村は隣村へ  
享保12年秋着工 13年春田植  
35年賦 村々買収、その間非課税  
約1万石 <5>

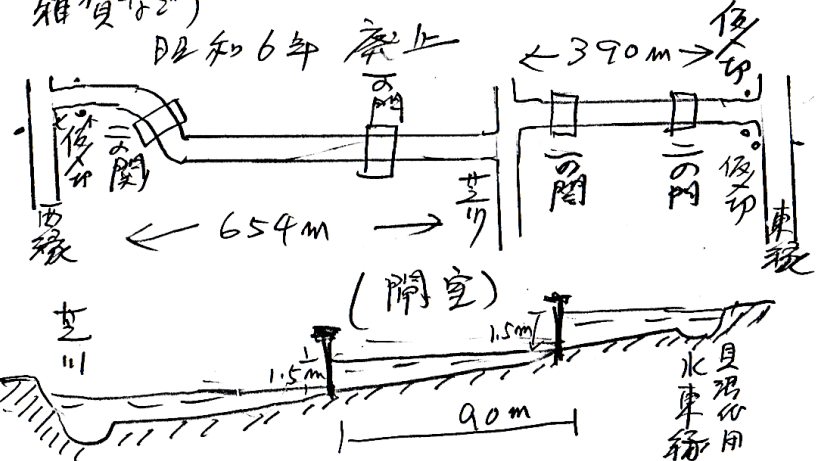
見沼通船堀 国指定史跡 大宮木、下山崎田

享保16年(1731)開通 井澤弥兵衛為永

我国最古の人工開削水運河 設計施工

冬半分の使用 但し江戸時代には開門より  
夏半分の農業用水 う言葉はよく、結果的に開門可

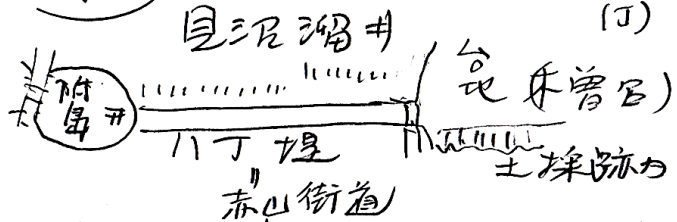
見沼新田の年貢米を江戸の官倉に運ぶのを  
主たる目的に。近隣の物資(材木、炭、薪、  
炭、柳炭など) 江戸の物資(砂糖、塩、肥料、  
雑貨など)



1.5 + 1.5 = 3 m

M 1丁出るとや 流も出ぬかどうか 無事7丁序で止  
M 4丁出るとや 物の屋打は樽と樽櫃を舟に力  
M 船が着いたと1丁の河岸に早く出取小おして  
<6> 倉

八丁堤 附島—木曾川間 長さ78町  
1町は約109m (丁)



見沼を人為的<sup>に</sup>溜井にするため築いた堤防 寛永6年(1629年) 関東郡代伊奈忠治が築造、高さ2m 幅50~100m 堤上居住開始は、1世紀後見沼ヲ拓後街村。都市計画の早い例。

附島 柳女体社 大間木 (古附島村 といふこと)

見沼の手前に女体(體/軀)とく神社がある。ウシ(人)ナカヒメを祀す。すべて台地 台地に南あるは南東向き。沼を見おろす。

(女体信仰は船霊(魂)か)

本殿は一間社流水見世棚造り。

江戸時代初期(市指豆文化見せ)

二桁ら葺き 木階付き。 桁行69cm



庇の部分 打床板を張るの一旦世棚造り

<7>

八丁 石工 秋本家が行っていた。作品多し。石材は見沼通船で。

鈴塚銘 八丁 商家造りの中寄り中二階 代々見沼通船事業を差配している。史跡。母屋と付属建物。江戸後期 (安政地震に耐えた)。

舟の模形(1/2) 中継船

芝川 見沼中悪水 川筋は旧石器時代以来。

新田開発の際の排水路。支流に加田谷落(加田屋川)

八丁橋がかかると上流に念仏橋。見沼新田開発の際 切り開いた。

水神社 大間木 悪水東

享保17年(1732)6月創建、罔象姫(みけはひめ)命を祀る。水上交通安全。本殿 一間社流造り。瓦葺銅板葺き

桁行1.37m。嘉永7年(1854) 礎石 嘉永6年 大工新藤富吉

<8>



船方中 積場中 会所  
 関東大震災で倒壊 再建  
 石碑 高橋佐平 最後の船頭から



山口  
弁天

下山口新田

巖島社  
市杵島姫命

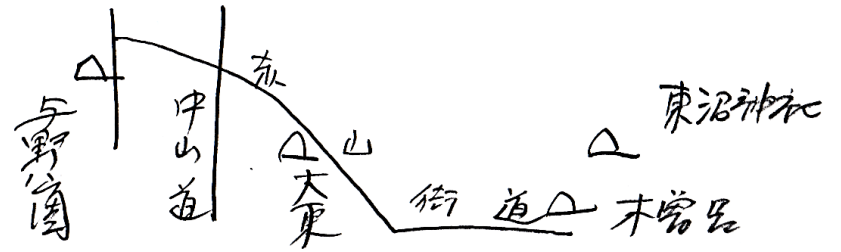
伝説「美女と馬子」

見沼に伝わる竜神伝説の代表  
 美女 (実は竜の化身)、空馬  
 を率く馬子 お礼の箱 幸福  
 約束 開箱 不幸 竜の鱗  
 弁天社 平穩



川口市東田野 国指定重要有形民俗文化財・史跡

寛政12年(1800)築造。年代のわ  
 かる関東最古の富士塚。富士講の一派  
 の信者。高さ5.4m 直径20m 物置あり  
 <97

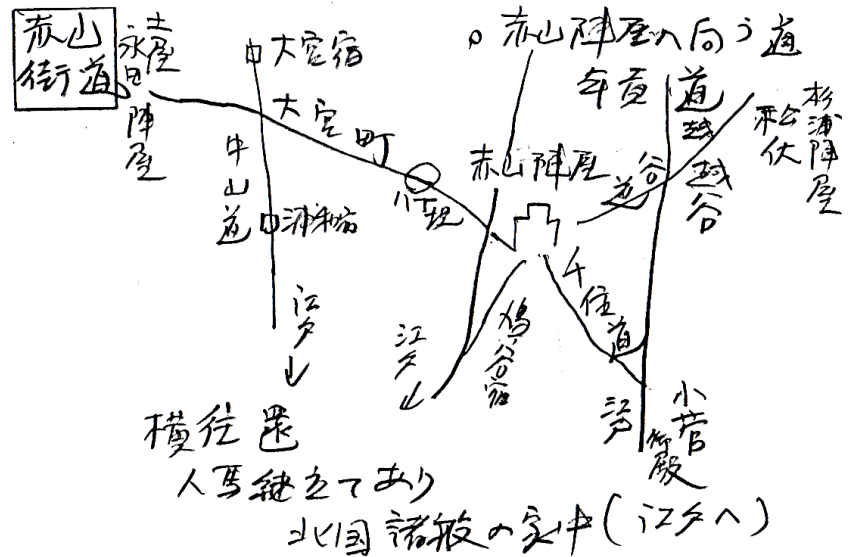


旧村社

一間社 流造り

文化2年(1805)の庚申塔

カチハ丁堤最古の  
木か



芝川第一調節池

下山口新田他

芝川7つの調節池の最南端。芝川の  
両側 92.3ha 昭和53年着工

野鳥サッカニア

四本竹  
祭祀遺跡

氷川女體神社の  
御船祭 渡御地  
享保12年まで実施  
祭振調査は竹800本  
隔年で400年間(200回)  
分

浦和くらしの博物館  
民家園

下山口新田

平成7年開館 野外民俗資料館

古民家等の移築復原

- 。旧 蓮見家住宅 三間取り 広間型 江戸時代  
中期
  - 。旧 野口家住宅 四間取り 旧後期
  - 。旧 高野家住宅 中山道商家 幕末~明治  
初期
  - 。旧 三空農協倉庫 大正8年 小山干瓢問  
屋倉庫 国登録文化財
- ほか

浅間社

大牧 梅竹 台状台地上

胆葎樹林 社叢 (昨年の台風で折  
損 大規模剪定)

シノキ、シラカシ他

木花咲耶姫命

寛永元年(1624)開創

